



防げる事故から 子どもを守るう！

“昨日できなかったことが今日できるようになる”
のが子ども。

成長を感じてとても嬉しい反面、大人には不慮の事故
から子どもを守るための配慮が必要になります。



よくある事故の原因とその対策

●窒息

危険なもの・・・豆類、アメ、プチトマト、氷、りんご、ちくわ、スーパーボールなど

<原因>

こんにゃくゼリーなどの危険性はよく知られていますが、ごく普通の食品も原因になります。
特に乳幼児の場合、気管に物を詰まらせやすいので、小さい物でも十分注意が必要です。

<対策>

- ・食べやすい大きさにして与える
- ・食事の時は子どもから目を離さない
- ・よく噛むこと、急いで飲み込まないことを教える
- ・物を口にいったまま喋ったり歩き回ったりしない

●誤飲

危険なもの・・・タバコ、ボタン電池、蚊取り線香、小さいおもちゃ、観葉植物、
医薬品、化粧品、洗剤、ホウ酸団子など

<原因>

何でも口に入れようとするのが子どもです。また、昨日までできなかった
ことが突然できてしまうのも子どもです。

<対策>

- ・子どもの口に入る大きさの物をテーブルの上に置いたままにしない
- ・危険性のあるものは子どもが開けられない箱や引き出しにしまう
- ・まだ立てないから、まだ歩けないからと油断しない
- ・児童には、医薬品やアルコールの誤飲の危険について、よく言いかせる



●溺水

危険なもの・・・浴槽、洗濯機、バケツ、プール、川、海など

<原因>

乳幼児は頭が重く、バランスを崩すと自力で体勢を直すのが困難です。

大人と一緒に入浴中でも、ちょっとしたすきに溺れてしまうことがあります。

<対策>

- ・浴槽に湯を残さない
- ・*3歳未満の乳幼児の溺水の8割は浴槽で起きています
- ・入浴時は、子どもより先に入り、子どもを出してから出る



身の回りを子ども目線で点検しよう！

ベランダ

- ・勝手に出られないようロックしておく
- ・いす、花台、古新聞等、踏み台になりそうな物を撤去する

トイレ

- ・内鍵を勝手にかけないように注意
- ・のぞき込んで便器に落ちないように注意
- ・芳香剤などは手の届かない場所に置く

浴室・洗面所

- ・浴槽、洗濯機に水をためておかない
- ・浴室に鍵をかけるなど勝手に入れないように工夫する
- ・洗剤やカミソリなどは幼児の手の届かない場所に置く
- ・踏み台になるものを置かない

リビング

- ・使い終わったらすぐにしまう、テーブルの上には物を置いておかないなど、こまめに整理整頓する
- ・口や鼻に入ってしまうような小さいおもちゃは与えない

キッチン

- ・テーブルクロスは使用しない
- ・ポットなどは手の届かない所に置く



お問い合わせ/健康推進課(☎63・3801)